第　２　学年　　美術　科

学習教材および学習の進め方

<table>
<tr><td>使用教材</td><td>教科書：『美術２・３』　光村図書
資料集：『美術資料（滋賀県版）』　秀学社</td><td>持ち物</td><td>左記以外に
　デザインセット
　筆記用具
　色鉛筆
　スケッチブック
※その他に必要な準備物があれば、授業で連絡します</td></tr>
<tr><td>学習の進め方</td><td colspan="3">＜確かな学力を身につけるには＞
・授業で指示される制作のポイントをしっかりと把握し、意欲的に課題に取り組みましょう。
・自分の良さを伸ばし、上手くいかないことがあっても諦めないで最後まで粘り強く取り組みましょう。
・作品制作だけでなく、美術資料などから知識や技能を幅広く身につけ、多様な表現や発想ができるように心がけましょう。
・アイデアスケッチやワークシートなどで、自分が制作していく作品についてのテーマや構想をしっかり考えて、計画的に取り組みましょう。
・教科書・美術資料・ビデオ教材・生徒作品等を鑑賞し、学びあいの学習やワークシート等で、自分の意見や感想を表現できるようにしましょう。

＜学び合いについて＞
・グループで意見を交流し、他者の作品からよさや美しさを感じ取れるようにしましょう。
・他者の作品や表現から、自分らしい工夫を考えて、発想や表現の幅を広げてみましょう。</td></tr>
<tr><td>学習上の注意</td><td colspan="3">・ベル着・作業の準備・後片付けを、しっかりできるようにしよう。
・授業の準備物を、忘れないようにしよう。
・題材の目標や制作手順などの説明をよく聞き、毎時間の学習目標を意識しよう。
・学びの交流以外での私語を慎み、立ち歩きをせず、制作に集中しよう。
・作品やワークシートを計画的に仕上げて、提出期限を守ろう。
・道具を大切に扱うようにしよう。また、道具の使用は、安全面に気をつけよう。
・制作に必要な資料や材料を準備して、制作にいかそう。
・自分が制作した作品を大切にし、記名をしっかりしよう。
・他者の作品から、よさや美しさ・工夫などを感じ取り、自分の制作活動に活かせるように意識しよう。</td></tr>
</table>

学習内容および評価規準

	月	単元計画	
一学期	4 5 6 7	○オリエンテーション ○季節感のある暮らし 「季節の和菓子」 （立体） ○鑑賞（相互鑑賞）	
二学期	9 10 11 12	○鑑賞 （抽象絵画について） ○モダンテクニック （練習課題） ○『私の気持ち こんな色・ こんな形で…』 （抽象絵画） ○鑑賞（相互鑑賞）	
三学期	1 2 3	○わかりやすく伝える 「ピクトグラム」 （デザイン） ○鑑賞（相互鑑賞） ○「透視図法・ 等角投影図法」 （練習課題） ○練習課題（絵画） ○振り返り	

評価の観点	評価の方法（見取り）	
知識・技能	・それぞれの素材や性質が感情にもたらす効果を多様な視点から理解している。 ・造形的な特徴などをもとに、全体のイメージや作風で捉えることを理解している。 ・自分の表したいものに合った材料や用具を選択し、意図に応じて創意工夫してあらわしている。 ・材料や用具、表現方法の特性などから制作の順序などを総合的に考えて、見通しをもって制作をすすめている。	・作品 ・テスト ・練習課題 ・ワークシート
思考・判断・表現	・題材に合わせて、自分の中から主題（テーマ）を生み出している。 ・作品の全体や部分との関係を考えて構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。 ・作品から、よさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫について幅広く考えている。また、多様な視点に立って、見方や感じ方を深めている。	・作品 ・テスト ・練習課題 ・アイデアスケッチ ・ワークシート
主体的に学習に取り組む態度	・表現、鑑賞の活動に自分から積極的に、深く取り組んでいる。 ・よりよい表現を目指して試行錯誤を重ねて創意工夫をしている。 ・見通しをもちながら粘り強く表そうとしている。 ・独創的な視点で、作品のよさや美しさなどを感じ取ろうとしている。 ・作者の心情や表現の意図と創造的な工夫について考えようとしている。また、見方や感じ方を深めようとしている。	・授業への取り組み ・課題への取り組み ・ワークシート